

## 【登山コースとアクセス】

### 太宰府市側のコース

☆西鉄大牟田線で西鉄二日市駅乗換え、太宰府駅より太宰府市コミュニティバス(まほろば号)「内山」行き終点で下車。龍門神社の本殿前から左の車道を100m登った鳥居が登山口です。

☆太宰府駅より約2.3キロ、徒歩約40分です。  
☆車の場合は龍門神社の駐車場(有料)が利用できます。

### 宇美町側のコース

☆福岡・天神から『極楽寺』行き西鉄バスで陣子岳下車。徒歩10分の「宇美・昭和の森」が起点になります。

### 凡例

尾根	——
道路(緑線は林道等)	——
登山道	.....
九州自然歩道	.....
山頂	△

【九州自然歩道】は、四王寺山から宝満山の正面登山道を經由し、宝満山山頂から三郎山をへて米ノ山峠に下り、大根地山に向かって延びています。



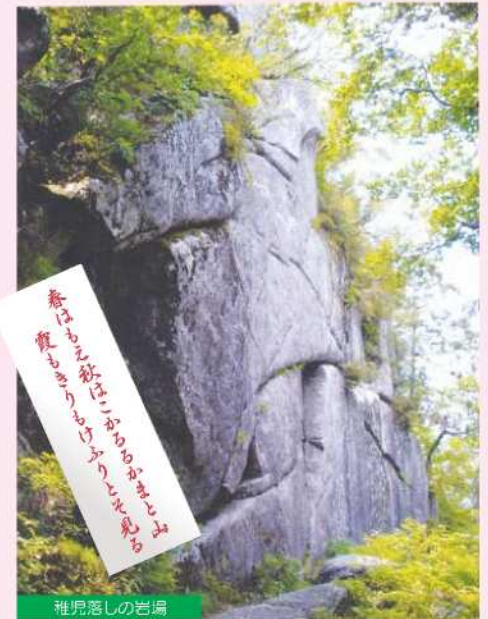
## 登山上の注意

- ☆正面登山道は、よく整備され標識も整っています。しかし、それ以外のコースは、地図などでよく確認をしてください。三郎山方面への縦走や、難所ヶ滝のコースも同様です。
- ☆下りでは、思いのほかひざ等に大きな負担がかかります。上りはゆっくりとしたペースを保ち、下りの余力を残しておきましょう。
- ☆時間には十分に余裕を持って登りましょう。
- ☆ごみは持ち帰りましょう。
- ☆台風や豪雨の後は倒木や落石が発生している場合があります。十分に注意して登りましょう。

## 宝満山 登山案内



山頂の上宮



稚児遊しの岩場

## お問い合わせ先

太宰府市観光交流課	092(928)3938
太宰府観光協会	092(925)1880
龍門神社	092(922)4106
宇美町地域振興課	092(932)1111

## 太宰府市

Tel 092-928-3938 (観光交流課)  
Fax 092-918-8701  
<http://www.city.dazaifu.lg.jp>

協力 九州登山情報センター「山の図書館」

Tel 092(928)2729  
2011.4 作成

このリーフレットは「歴史と文化の環境税」で作成したものです。

## 宝満山 正面登山道…コースガイド

### かもど 龜門神社～休堂跡 (三合目)

登山口…龜門神社の本殿前を左に抜けると川沿いに式部神社があり、ここが一合目。鳥居をくぐり「宝満山登山道」の標識に従って登ると車道(内山林道)に出る。300mほどで車道と別れ池の西側を通りやがて山道になる。車道を横切って道をたどると車道終点の広場。林に入り石段を登り「一の鳥居」(二合目)。すぐ先で「天狗道」が右に分かれる。しばらく緩やかな尾根道を行き、急なジグザグ道を越えると三合目の「休堂跡」で水場がある。

### 休堂跡～中宮跡

ここからは急な石段が連続するのでゆっくりと登りたい。高まる心拍数を抑えるのが登りのコツ。五合目には「殺生禁断」碑が建つ。「百段ガンギ」は規則的な石段でまさに胸突き八丁。これを登りきると坊跡の広場(七合目)で、湧水(駒御の井)がある。さらに石段を登り、「芭蕉句碑」を見て「中宮跡」につく。

### 中宮跡～宝満山々頂

「中宮跡」は、修験の講堂跡の礎石が点在する広場で、「龜門山碑※」があり目を凝らすと宝満山々頂が望める。すぐに八合目で、右へ「女道」が分かれる。(女道は山腹を巻いてキャンプ場に続く)

正面登山道はまっすぐに石段を登り、巨岩の下を行く。(石段の上で左に「羅漢道」が分かれる)これから山頂にかけて巨岩の間を縫って行く道は、修験の道場の雰囲気が出てくる。袖すり岩馬蹄石を通るとまもなく上宮の祠が建つ山頂につく。

※龜門山は宝満山の別称



シャクナゲ  
(五月上旬)

**龜門神社から宝満山 (正面登山道) 所要時間**  
**上り**  
 ・龜門神社→30分→一の鳥居→20分→休堂跡→40分→中宮跡→20分→宝満山 (約2時間)  
 ・中宮跡(女道)→15分→キャンプ場→5分→宝満山  
**下り**  
 ・宝満山→20分→中宮跡→30分→休堂跡→20分→一の鳥居→20分→龜門神社

**凡例**

川・谷	——
道路(細線は林道等)	——
登山道	.....
登山道(九州自然歩道)	.....
山頂	△

標字は標高・尺、※等距離は50mの程度です



山頂から四王寺山 福岡市街を望む

## 歴史とロマンの山・宝満山

宝満山は、おそらく福岡県で最も登山者の多い、人気の高い山です。龜門神社からの正面登山道はよく整備されており、いつも老若男女の姿が見られます。

標高829.6mの山頂からは、福岡市街から玄界灘、筑紫平野を見下ろし、英彦山や古処山につづく山並を望み、360度を展望することができます。

この展望の良さと歴史に彩られた雰囲気から、一年中登山者が絶えず、とりわけ元旦には、ご来光登山の人々で賑わいます。

山頂には龜門神社上宮が、麓には下宮が鎮座しており、古代都市・大宰府の鬼門(東北の方角)を封じたと伝えられています。

また、玉依姫の伝説、伝教大師や弘法大師が遣唐使船の航海安全や、雨乞いをされた地として知られ、さらには修験道の霊峰として崇められた史跡の山でもあり、古代より現在に至るまで、多くの人をひきつけています。

高さの割に傾斜のきつい山道は、登山による健康増進や体力養成にも利用されており、山頂近くには、キャンプ場と山小屋(無人)もあって、アウトドアを楽しむ人々に親しまれています。

春の桜、櫓やシャクナゲ、ミツバツツジの群生、ブナ林の新緑、秋の紅葉、冬の難所ヶ滝の氷結など、四季折々の魅力をお楽しみ下さい。



百段ガンギ 子どもたちが数えると丁度百段あった



春 龜門神社の桜は宝満山を青景にして花開く



山頂の賑わい、この日昇 近郊の中学校の登山



厳しい冬を待てる中 奇跡の稲刈り(五月中旬)



修験道が今も息づく火渡り(五月下旬 龜門神社)